

JENESYS2016 招へいプログラムの記録
対象国：ASEAN 10 カ国、東ティモール及びインド
テーマ：平和構築交流 2 陣

1. プログラム概要

ASEAN10 カ国及びインド、東ティモールより日本文化及び平和について関心のある高校生 120 名が、2 月 14 日～2 月 21 日の 7 泊 8 日の日程で来日し、平和構築をテーマとしたプログラムに参加しました。一行は、プログラムを通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、日本での様々な体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

【参加国・人数】 120 名（インド 10 名、インドネシア 10 名、カンボジア 10 名、シンガポール 10 名、タイ 10 名、東ティモール 10 名、フィリピン 10 名、ブルネイ 10 名、ベトナム 10 名、マレーシア 10 名、ミャンマー 10 名、ラオス 10 名 ※50 音順）

【訪問地】 東京都（全員）、広島県（24 名）、長崎県（96 名）佐賀県（24 名）

2. 日程

2 月 12 日（日）/ 13 日（月）/ 14 日（火）

羽田又は成田国際空港より入国、【オリエンテーション】

2 月 15 日（水）

【日本理解講義/基調講演】、【歴史的建造物視察】東京都江戸東京博物館・浅草寺

2 月 16 日（木）～ 19 日（日）

グループごとに分かれ、各地方へ移動

（1）グループ A: 広島県

【歴史的建造物視察】原爆ドーム、広島平和記念公園・広島平和記念資料館、
 【日本理解講義】被爆体験講話、【地方自治体表敬訪問】広島市役所、
 【学校交流】広島県立海田高等学校、【歴史的建造物視察】広島城、【ホームステイ】、【ワークショップ】

（2）グループ B: 長崎県・佐賀県

【歴史的建造物視察】長崎平和公園・長崎原爆資料館、【日本理解講義】被爆体験講話、
 【地方自治体表敬訪問】多久市役所、【学校交流】佐賀大学、
 【地域住民・企業関係者との交流会】社会福祉法人太陽の子青い鳥保育園、
 【歴史的建造物視察】佐賀城、【ホームステイ】、【ワークショップ】

（3）グループ C/D/E: 長崎県

【歴史的建造物視察】長崎平和公園・長崎原爆資料館、【日本理解講義】被爆者講話、【日本理解講義】、【地方自治体表敬訪問】諫早市役所（グループD）、【学校交流】長崎県立長崎西高校（グループC）、長崎県立諫早高校（グループD）、長崎県立西陵高校（グループE）、【歴史的建造物視察】諫早市・眼鏡橋、大村市・武家屋敷見学（グループE）、【日本文化体験】寿司作り、【ホームステイ】、【ワークショップ】

2月20日（月）東京へ移動、【報告会】

2月20日（月）/21日（火）羽田又は成田国際空港より出国

3. プログラム記録写真 共通プログラム（東京都）

	
2/15 【日本理解講義／基調講演】	2/20 【報告会】
【Lecture on Japanese Culture / Key Note Lecture】	【Reporting Session】
グループA：広島県	
	
2/16 【学校交流】広島県立海田高等学校	2/17 【歴史的建造物視察】平和記念公園
【School Exchange】Hiroshima Prefectural Kaita Senior High School	【Observation of Historical Landmark】Hiroshima Memorial Peace Park



2/17 【地方自治体表敬訪問】 広島市役所
【Courtesy Call】 Hiroshima City Hall



2/17 【歴史的建造物視察】 広島城
【Observation of Historical Landmark】
Hiroshima Castle



2/18 【ホームステイ】 広島市
【Homestay】 Hiroshima City



2/19 【ホームステイ 歓送会】 広島市
【Farewell Party with Host Family】
Hiroshima City

グループ B: 佐賀県



2/16 【歴史的建造物視察】 平和公園
【Observation of Historical Landmark】
Peace Park



2/17 【学校交流】 佐賀大学
【School Exchange】 Saga University



2/17【地域住民との交流】青い鳥保育園
【Exchange with Local Residents】 Aoitori
Nursery



2/17【地方自治体表敬訪問】多久市役所
【Courtesy Call】 Vice Mayor of Taku City
Hall



2/18【ホームステイ】多久市
【Homestay】 Taku City



2/19【ホームステイ歓送会】多久市
【Farewell Party with Host Family】 Taku
City

グループ C, D, E : 長崎



2/16【歴史的建造物視察】眼鏡橋
【Observation of Historical Landmark】
Arch Bridge



2/17【学校交流】長崎県立長崎西高等学校
【School Exchange】 Nagasaki Prefectural
Nagasaki Nishi High School

	
2/17【歴史的建造物視察】平和公園 【Observation of Historical Landmark】 Peace Park	2/18 【ホームステイ】琴海町 【Homestay】Kinkai Town
	
2/19【ホームステイ 歓送会】外海町 【Farewell Party with Host Family】Sotome Town	2/19【ワークショップ】 【Workshop】

2. 参加者の感想（抜粋）

◆ インドネシア 高校生

日本政府の平和への取り組みについての講義や、どのように広島に原爆が落とされたのかについて地元の語り部さんから話を聞き、新しい知識をたくさん得ることができました。語り部のお話は、平和がいかに重要かということを目覚めさせてくれました。日本の方々が本当に大好きです。海田高校で出来た新しい友達は優しく、私たちを心から歓迎してくれました。また、学校での日常生活や、授業について説明してくれ、様子がよくわかりました。今回 JENESYS 2016 に参加出来たことに対して、どれだけ感謝しているかを言い表す言葉が見つからないほどです。日本が他の国々と穏やかな関係を保ち、よりよい生活を培っていきたいと考えていること、どのように日本国民が平和に生きているのかについて知り、素晴らしいと思いました。日本の人々が日々の生活をどのように過ごしているのかを見て、感じ、一緒に体験出来、とても感謝しています。私のホストファミリーは村に住んでいたのも、Wi-Fi もありませんでしたが、おかげで、滞在した2日間、自分のしがらみに惑わされることなく、時間を有意義に過ごし、ホー

ムステイを楽しむことが出来ました。

◆ タイ 高校生

このプログラムに参加し、日本滞在という幸せな時間を持てました。JENESYS から得たものは大きいです。最初の講義では日本の公式な基本情報を学びました。江戸時代、天皇制、侍の時代などですが、興味深く学びました。また長崎県に行きその歴史なども知ることができました。学校交流では高校生と様々な情報、文化を互いに学び、私は日本人を知ることができました。彼らは親切で優しい人たちです。諫早市役所での交流も素晴らしかったです。プログラムの運営が鮮やかで、文化交流教育の重要性を感じました。日本について学んだだけでなく、他国の人との関係を築く事ができました。最後にホームステイですが、日本人の家庭に滞在できたことは深く心に残る思い出です。私達に日本の文化を教えてくれ、とてもよく面倒を見て頂きました。彼らの愛情と親切に深く感謝いたします。

◆ シンガポール 学生

日本に滞在した事により、日本の技術と伝統の融合性はどのようなものか、日本人同士の間関係などを学びました。長崎での原爆による人的被害についての講義では戦争の悲惨さを実感しました。学校訪問では新しい友達を作りフェイスブックのアドレスを交換しました。とても寒かったのですが、校舎からの景色は素晴らしく、ここで撮影した写真は驚異的な数になりました。ホームステイでは日本の生活様式を体験出来て、私はその生活様式が好きになりました。食事も素晴らしく、ホストファミリーの方達からも驚くほど良くしていただきました。気がつくと時があっという間に経ち、別れるのが寂しくなりました。一緒に生活した日本の家族は本当の家族のようで、出会った人達は兄弟のように親しくなりました。この訪日で多くを吸収出来たので、シンガポールに帰ってからは、より良い人間になれると思います。またチャンスがあれば日本を再訪し、今度はもっと長く滞在してこの素晴らしい国の文化や自然美を堪能したいと思っています。

◆ ブルネイ 学生

一番印象に残ったのはホームステイです。ホストファミリーを通じて普段の生活を見ることができました。彼らは、マナーがよく、私達を尊重してくれました。保育園の交流では、3 か月の子供も保育園に通っていることにびっくりしました。子供達は、ダンスや食事の仕方を学び、またゴミを分けて捨てていることには驚きました。幼いころから何に対しても感謝する様に教えられているので良い生徒になるのだと思います。長崎の原爆で亡くなった方々、被害者の方々に哀悼の意を送ります。非常に悲しいです。被害者は長く苦しみました。長崎平和公園への訪問は、私にとっても訪日団にとって意味深いものでした。佐賀大学訪問も有意義な時間でした。日本人がどのように交わり勉強するのかわかりました。佐賀大学の学生は英語力がさほどない生徒もベストを尽くしてくれました。驚いたのはそこで学んだ日本の教育システムです。教育が重視され誰もがどんなことでも学べる機会が与えられています。最後に日本の文化は規律にあふれて

いて、日本人の他者を尊重する考え方が素晴らしいと思います。

5. 受入れ側の感想

◆ 受け入れ学校 学生

自分の通う学校にあれほどの大人数の海外からの団体が訪問されたのは初めてで、1対1で外国の人と話をしたのも初めてだったので、とても良い経験になりました。お互いに違う言語を普段使っているのに、自分が学校で学習してきた英語を使うことで話が通じたことに感動しました。些細なことだけれども文化の違いを多く感じられて、その文化をお互いに知り合えた時がすごく楽しかったです。今はツイッターなどで世界とつながることができるので、これからも住む場所は違っても交流を続けていくことができるといいなと思います。

◆ 受け入れ学校 担当者

この度は、本校を訪問して頂き誠にありがとうございました。 半日という短い時間ではありましたが、生徒同士が積極的にコミュニケーションをとり、交流することが出来ていたように思われます。平和構築交流というテーマにそって、交流を深めるという点においては至らない点もあったかと思いますが、歓迎集会・ホームルーム・授業体験等、日本の高校生生活を一通り体験していただけたと思います。時間をもっと取ることが出来たらもっと良かったとも思います。今後また、機会がありましたら、是非交流させて頂きたいと思っております。

◆ 受け入れホストファミリー

JENESYS プログラムの受け入れはこれまで何度か経験させて頂いていますが、高校生は初めでした。若い彼らにとっては、数名ずつの滞在は不安が軽減され良かったと思いました。ホームシックも心配していましたが、大丈夫で安心しました。対面の時に、スタッフの女性の方々がご親切にフォローして下さり、とても行き届いていて安心感があり、感謝しています。2泊3日は一瞬で終わってしまいましたが、とても良い思い出も出来、良かったです。もう1泊あれば、宮島に連れて行ってあげたかったのが残念でしたけど。

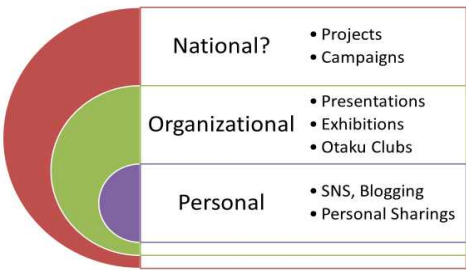
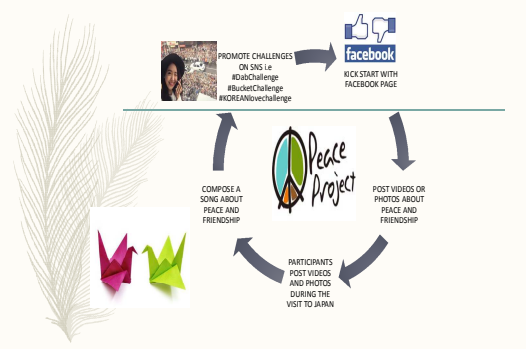
6. 参加者の対外発信

	
日本の歴史や文化を知り、ホームステイ体験等大変貴重な機会を頂けて感謝しています。今回の訪問で、日本の歴史や文化、平和に関する知識が増えました。特に侍文化です。ホームステイでは、日本の家庭のお風呂にも入る機会もありました。何より今回出会えた友人達との友情を、今後も育んで行きたいです。私達にとって JENESYS は終わりではなく始まりであり、誠実な友情は国境を超えることを証明します！ (Facebook)	日本について知ることができた。 江戸時代の生活、素晴らしい芸術。 和、おもてなしの心、日本の文化。 言葉がでないほど素晴らしい。これらの写真を見れば、皆さんもわかるでしょう。感じてね！ (Facebook)
“A prestigious chance that is given to me. I am really thankful for this great opportunity!:) Through this trip, I gained many knowledge such as Japan History, culture and the importance of peace. Especially the samurai history and the home stay experience that I even get a chance to stay in a real Japanese house and bath in a traditional Japanese bathroom. Nevertheless, the friends that I met during this trip and their languages and cultures fascinated me. To my friends that I met, I would like to tell you that by chance we met but by choice we	These pictures let us know what is Japan! The greatness of Japan. The alive lifestyle of Edo period. The marvelous art of Japan. The unity, the hospitality and the wonderful culture of Japan. We can't find suitable word for these pictures. You will know it when you see it! Feel By Heart! (Facebook)

are friends now... hope this friendship will last and that we will never forget the experience we had together especially the joys nor one another:~)! Personally, I felt that this is not the end of our journey but the beginning of our journey to know more of one another and to communicate. Though all of us might stay far from one another but let's proof that distance is not a matter, because sincerity overcomes all:~)! - at Japan.”(Facebook)	
--	--

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

<table border="1"> <thead> <tr> <th>Country</th><th>Initiatives</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ALL</td><td>School presentations during assembly</td></tr> <tr> <td>Brunei</td><td>Origami Workshop</td></tr> <tr> <td>Cambodia</td><td>Youtube Videos</td></tr> <tr> <td>India</td><td>Origami Workshop & Japanese Trivia Competition</td></tr> <tr> <td>Indonesia</td><td>Blog Review</td></tr> <tr> <td>Laos</td><td>Sushi making session + sharing of experiences</td></tr> <tr> <td>Malaysia</td><td>Youtube videos & individual blog reviews</td></tr> </tbody> </table>	Country	Initiatives	ALL	School presentations during assembly	Brunei	Origami Workshop	Cambodia	Youtube Videos	India	Origami Workshop & Japanese Trivia Competition	Indonesia	Blog Review	Laos	Sushi making session + sharing of experiences	Malaysia	Youtube videos & individual blog reviews	   1. Social media (Facebook, Instagram, Twitter, YouTube) 2. To our family, friends, teachers and students 3. Brochure – for those without social media 4. Media (newspaper, radio, TV news)
Country	Initiatives																
ALL	School presentations during assembly																
Brunei	Origami Workshop																
Cambodia	Youtube Videos																
India	Origami Workshop & Japanese Trivia Competition																
Indonesia	Blog Review																
Laos	Sushi making session + sharing of experiences																
Malaysia	Youtube videos & individual blog reviews																
A グループ 各国での取り組みの紹介 ・全参加国：集会でのプレゼン ・ブルネイ おりがみワークショップ ・カンボジア Youtube ビデオ ・インド おりがみワークショップ、日本に関するクイズ大会 など	B グループ 日本の環境、人々、文化、平和構築、技術、教育（機関、システム）についての情報を、4つの方法で発信する。 ①ソーシャルメディア。②日常生活の中で家族や友人などに情報を共有、③メディアを持っていない人たちに対しては、冊子を作って発信、④メディアを使って発信。 特に8月は原爆被害者への哀悼の意を込めて強化する。																

ALL Country School presentations during assembly Brunei: Origami Workshop Cambodia: Youtube videos India: Origami Workshop & Japanese Trivia Competition Laos: Sushi making session + sharing of experiences etc...	Participants will disseminate information about Japan concerning environment, people, culture, peace building, technology, and education (institution, system) through the following 4ways. ① dissemination through social media (group Facebook) ② sharing with families and friends in dairy life ③ brochure making in each language for those without social media ④ dissemination through local media. August is set as an intensified month to express their condolences to A-bomb victims.						
Overview  <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">National?</td> <td> • Projects • Campaigns </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Organizational</td> <td> • Presentations • Exhibitions • Otaku Clubs </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Personal</td> <td> • SNS, Blogging • Personal Sharings </td> </tr> </table>	National?	• Projects • Campaigns	Organizational	• Presentations • Exhibitions • Otaku Clubs	Personal	• SNS, Blogging • Personal Sharings	
National?	• Projects • Campaigns						
Organizational	• Presentations • Exhibitions • Otaku Clubs						
Personal	• SNS, Blogging • Personal Sharings						
C グループ <u>概要：</u> 国レベル：プロジェクト、キャンペーン 組織レベル：プレゼン、展示、おたくクラブ 個人レベル：SNS、ブログ、個人的共有 <u>内容</u> ・ 原爆の影響についての共有 - 放射能の影響 - 死亡者や破壊の状況 ・ 原爆からの復興プロセスの共有	D グループ アジア各国間の相互理解を促進し、青少年に平和意識と友情を拡げるため、Facebook ページを立ち上げ、ここにオリジナルのビデオや歌をアップロードする。また「#HeiwaChallenge」キャンペーンを発信することで写真・知識・プレゼン等の共有を促す						

<u>Overview</u> National? Projects Campaigns Organizational Presentation Exhibitions Otaku Clubs Personal SNS, blogging Personal sharing <u>What</u> - Share about aftermath of atomic attack -Effects of radiation -Loss of lives and destruction - Share recovery process	To promote the importance of understanding among the Asian countries and spread the awareness of peace and friendships among youth, my team will do a Facebook page whereby you will get to find the video and songs we made there and photos or knowledges that we shared together with the #HeiwaChallenge campaign and last but not least the presentation.
ACTION PLAN What we will be doing: We will be making Japan lifestyle as one example of peace we want to convey. E.g. exposing them to their lifestyle, having interaction of their kindness & generosity. Teaching them a sense of giving something without the means they have something back. Karma Cycle, what comes around goes around. Sharing the story of victim of the tragic past is one of the ways to create peace. How will you implement your plan? We can have a gathering, summit, conference to discuss the issue and finally the important part, having ASEAN Peace Camp. We can invite a group or individual representative from every country for the Peace Camp. For the ASEAN Peace Camp, there is two ways in doing so. The first is the Visual : showing videos, presentation and etc. The second way is physical: of having exposure experience and projects like homestay, voluntaries work and etc. We can pass on the message of the next generation to raise awareness by SNS(Social Media) and Education as part of history. 	
E グループ 集会、会議等での討論を通じて発信。最終的には各国の代表者を招聘し、アセアン平和キャンプを開催。キャンプでは自分達の体験したホームステイやボランティア活動等の紹介をビデオやプレゼンで紹介する。SNS 等を通じて次世代の学生達に意識向上のメッセージを発信する。	
We can have a gathering, summit, conference to discuss the issue and finally the important part; having ASEAN Peace Camp. We can invite a group or individual representative from every country for the Peace Camp. For the ASEAN Peace Camp, there is two ways in doing so. The first is the Visual : showing videos, presentation and etc. The second way is physical: of having exposure experience and projects like homestay, voluntaries work and etc. We can pass on the message of the next generation to raise awareness by SNS and Education as part of history. We can have a gathering, summit, conference to discuss the issue and finally the important part; having ASEAN Peace Camp. We can invite a group or individual representative from every country for the Peace Camp. For the ASEAN Peace Camp, there is two ways in doing so. The first is the Visual : showing videos, presentation and etc. The second way is physical: of having exposure experience and projects like homestay, voluntaries work and etc. We can pass on the message of the next generation to raise awareness by SNS and Education as part of history.	